

令和6年度 第2回魚津市地域クラブ推進協議会

- 1 日時 令和7年2月10日(月) 19:00～20:30
- 2 場所 ありそドーム 研修室
- 3 参加者
市スポーツ協会 各スポーツ競技団体(11競技) 代表
市PTA連合会 市中学校長会 市中学校体育連盟 各代表
事務局：市教育委員会(事務局長 担当課長 担当)

4 協議内容

- (1) 令和6年度の成果と課題
※協議会資料参照
- (2) 令和7年度の推進体制、実施計画
※協議会資料参照
- (3) 令和7年度地域クラブ活動概要と諸手続き
※協議会資料参照
- (4) 保護者説明会について
※協議会資料参照

(5) 意見交換

<各競技団体より指導者の確保について>

○卓球

・卓球としては来年度からスタートするが、現状の教室等でも指導者の確保について難しいと感じている。ほかの競技はどのように確保しているのか知りたい。

○水泳

・水泳協会も高齢化しており、現役で仕事している人たちもいる。指導者には若い人もいるため、その人達を中心に指導してもらっている。

○サッカー

・魚津市サッカー協会として人員を確保していることはない。クラブチームが昔からあるため、小学校指導者と中学校指導者が連携しておこなっている。現役世代の指導者がほとんどであるため、18:00からの活動であるならばその曜日は間に合うように退勤している。学校の教員も指導者として関わってくれている。自分たちが主催する



市の大会では、指導者総出で運営している。日頃の活動は、中心となる指導者が主に
出ている。

・時間帯としては、生徒たちが安全に帰れる時間帯で活動したいと思っている。18：
00～20：00の練習であるならば21：00には家に帰れるため、21：00までには家に帰
るように声をかけている。

・指導者を増やしたいのはやまやま。指導者のライセンス取得が課題。

・勝利至上主義ではやっていないので、出席については任意としている。サッカーを
通して学びを得てもらいたいと考えている。

○ソフトテニス

・協会としては60～70代が多い。20代がちらほらいる。中間層がいない。指導者の
関係で、休日の夜の活動が主になっている。平日は難しい。

・サッカーと同じで結果だけを求めるのではなく、大人になっても競技を続けてくれ
たり、経験値を高めたりできるような活動にしたいと思っている。基本的な生活習慣
は学んでほしいが、楽しい活動をメインにやっている。そのほうが出席率が高い傾向
にある。子供たちの出席率を高めたい。

○バドミントン

・現役で働き世代がほとんどである。指導者の確保については、参加している子供の
親に声をかけて確保している。子供たちの指導をとおしてコーチの育成もねらいにし
ている。またライセンス資格をとりについた指導者については、協会から受講料を全
額だしている。

・勝利至上主義にならないように子供たちにも負担感がないようにしている。

○ラグビー

・指導者の入れ替わりが激しい。現状は5名確保しているが、ラグビー人口の減少も
影響している。地域クラブの運営等を見据えて、ラグビー人口の増加を目指して協会
も変わっていく時期である。

○バレーボール

・指導者は6名体制。40代以上が2名、30代が1名、20代が3名。20代3名は市内
中学校出身でバレーボール経験者であるため、声をかけて指導者になってもらった。

・男女分かれての練習になるため、日によっては指導者1名で2コートを見ることも
ある。ただ日によっては6名全員がいるときもある。

・来年度からは、スポット的に指導してくれる人を入れていく予定。若手スタッフを
入れていくことを目標に市外の指導者にも声をかけている。

・OB、OGにも声をかけている。

・ライセンス資格の受講料については、協会から全額補助しており指導者として負担
感がないようにしている。

・特に協会から指導者を派遣している等はない。

○陸上競技

・スポーツ少年団で指導していた方々が指導者となっている。90名近くいるクラブを

3名でみている。1回で90名は無理なため、曜日を変えて1回40名程度を3クラスに分けて指導している。協会も高齢化しているため、保護者の方に声をかけて指導者登録してもらっている。クラブ卒業していった人に富山に帰ってきた際は指導に関わってもらっている。

○卓球

- ・卓球経験者に練習相手でもよいため、協力してほしいと声をかけている。

<学校関係より>

・魚津市の地域展開についてはもちろん、県内他市町村の動向にも注視している。魚津市は運営主体をはじめ、競技協会のご協力のもと運営組織がしっかりとしており、学校としても感謝したい。

・今年度の新規採用の教員も、遠くから通勤していることもあり、日々苦勞しているが、部活動指導員の方や地域クラブの指導者の方が引率してくれるため大変ありがたいと言っていた。過去に部活動顧問をしていた教員も今は、地域クラブという制度ができて休日の時間が増えたと言っている。

・ほかの部の顧問をしているが、地域クラブの指導者になってもよいかと言われた。どんどん地域に出て行って自分の力を発揮してほしいと考えている。持続可能な職場環境を整えていきたいと考えている。

・国の動向にもあったように、公認指導者資格を有している方々や様々な大人たちが子供たちに関わっていくことが将来にわたって子供たちのスポーツ環境を整えていくことにつながる。

・地域クラブの良さは、子供たちが他校の友達と切磋琢磨できること、多様な視点から専門的な指導をしてもらえることであると考えている。また、それがアンケート結果にもでてるように活動の充実に表れているように思う。

・地域クラブと学校との連携が必要と国の動向にもある。何か生徒のことで気になることがあったら学校にも知らせてほしい。

- ・中体連の大会については、今年度と同様の開催となっている。

<PTA 関係より>

・今回の推進協議会で令和6年度の活動がよくわかった。近日中にPTAの理事会があるため、そこで活動について共有したい。